

自己評価表

教育方針	教育基本法の本質にのっとり、人格の完成を目指し、民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養い、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する豊かな人間性と創造性を備えた実践的な技術者を養成する。	重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の個性を尊重し、豊かな創造性と自己肯定感の育成 2 基本的な生活習慣の確立と自律心の育成 3 分かる授業の展開と基礎・基本の定着 4 資格取得の実践とキャリア教育の充実 5 部活動の充実と個性豊かな人間性確立 6 地域との連携とボランティア活動推進
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学習指導	家庭学習の充実	1日平均2時間以上の家庭学習時間を確保させる。	C	家庭学習時間の平常時平均は、1年生62分、2年生47分、3年生45分である。調査時平均は、1年生121分、2年生144分、3年生113分である。	・ICTの活用により、課題の配信や基礎力向上テストとの連携を行い、家庭学習時間の充実と基礎力向上を目指す。
	資格取得の充実	各種資格・検定試験の合格者総数5000人以上を目指す。	A	合格者総数が5170人であり、昨年より増加した。全国の工業高校と比較すると取得数は多く、資格・技能検定の取得数で与えられるジュニアマイスター顕彰では、最高賞（日本一）の経済大臣賞を受賞した生徒もいる。	・2年生までの資格取得状況が、総数やジュニアマイスター顕彰の取得に大きく関わっている。1・2年生での資格取得を更に奨励する。
生徒指導	基本的生活指導の充実	正しい挨拶のできる生徒100%を目指す。	B	学校評価に関するアンケートでは、9割を超える生徒が、相手にあった正しい挨拶ができていると自己評価している。保護者や教職員の評価も同じである。	・自ら進んで挨拶ができるようにする。また、場所や相手に合わせた正しい挨拶ができるように、学校生活の様々な場面で指導を行う。
	交通安全指導の充実	交通事故発生数0件を目指す。	C	20件の交通事故の報告があった。発生数は、例年の3分の2である。骨折を伴う重大交通事故が1件発生した。	・登下校指導や生活指導を通して、交通安全に対する意識を高めさせ、交通ルールやマナーを遵守する生徒の育成を行う。また、警察や交通安全協会と連携して交通安全教室を行い、交通事故の防止に努める。
進路指導	就職指導の充実	就職希望者の就職率100%を目指す。	A	就職希望者の就職率は、100%である。また、1次合格率（1社目の就職試験に合格した率）は96.2%である。	・1次合格率100%を目指し、基礎学力を身に付ける指導を充実させる。また、キャリア教育を通して、希望職種・会社名などの具体的な進路目標を早い段階から設定させ、その達成に向け努力させる。
	進学指導の充実	国公立大学合格者30名以上を目指す。	C	国立大学に14名、公立大学に2名合格している。国公立大学合格者は16名である。	・学校情報の提供や、早い時期でのオープンキャンパス参加を勧めることにより、より高いレベルの進学先を目標に学習に取り組ませる。また、補習や個別指導を充実させる。
特別活動	特別活動の充実	全国大会上位入賞5部門以上を目指す。	A	第17回高校生ものづくりコンテスト全国大会電子回路組立部門優勝、第7回中高生国際Rubyプログラミングコンテスト最優秀賞、第11回日本工業大学マイクロロボコン高校生大会1インチ部門第1位、第23回全日本シクロクロス選手権大会第1位、第12回若年者ものづくり競技大会電子回路組立職種第2位、第12回若年者ものづくり競技大会旋盤職種第2位、第38回全国高校生プログラミングコンテスト準優勝、第72回国民体育大会ソフトボール競技少年男子第2位、第12回若年者ものづくり競技大会電気工事職種第3位、第52回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会第3位、ジャパンマイコンカーラリー2018全国大会BasicClass第4位、第24回全国高等学校デザイン選手権大会チームワーク賞、第72回国民体育大会弓道競技遠的少年男子第7位、第17回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会入選とすばらしい成果をあげることができた。	・平成29年度は、生産的な部の活躍が多い。次年度に向け、運動部や文化部の全国大会出場と、全国での上位入賞を目指し、各部顧問の指導力向上を図る。
工業指導	社会貢献の充実	「松工ものづくり社会貢献プロジェクト」として、ものづくりを通じた社会貢献を各学科一つ以上行う。	A	地域と連携した防災講習や消防フェスタへの協力といった防災面を中心に、8学科とも一つ以上の社会貢献を目指した活動ができている。	・「松工ものづくり社会貢献プロジェクト」に、来年度も継続して取り組み、内容を充実させる。
環境整備	奉仕活動の充実	各クラス・部で、年1回以上の奉仕活動を行う。	C	クラスの83%、文化・生産・奉仕的な部の55%、体育的な部の80%が行っており、全体では74%が実施している。毎月定期的に活動している運動部や複数回実施したクラスもある。	・校内での清掃をきちんと行うことから始め、自らの手で教育環境を整えさせることで愛校心を持たせる。それを、地域を愛する心につなげ、校外での自主的な活動を充実させる。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。